

廃校利活用意見集約について

(第2回廃校利活用検討委員会中止に伴う意見集約)

令和2年12月28日現在

1. 各学校の利活用基本方針について

(阿部利広委員)

明安小学校について、比較的築年数が少ない学校で、手を加えずに転用できると考えられる。

有屋小学校について、鉄筋コンクリート造の校舎棟は、耐震基準に満たしているが、老朽化と次年利用計画を考え合わせて、解体も視野にいれてもいい。また、体育館棟は耐震補強工事もされているので、大空間の特性で地区の多目的利用施設の活用が考えられる。

(矢口知之助委員)

有屋小学校について、体育館は残して欲しい。(開校137年の歴史関連展示場所、地域の交流場所、避難場所、スポ少や番楽の活動の場などに使用出来ると思います。

(正野賢一委員)

各学校施設を現状のまま維持管理するだけでも多額の予算が必要であり、民間(企業等)への譲渡、貸与等の可能性が無ければ、中田・有屋・明安の全ての建物を残し続けるのは難しいと思う。一部の建物については解体等も含めて早急に結論を出すべきだと思う。

解体しないで残す建物については、地域や学区単位での活用や維持管理が可能な規模の施設ではないと思う(維持管理費の一部を町が補助するにしても、マンパワーの面でも地域単位では難しいと思う)ので、町全体(全域)での活用方法を検討すべき。また、複合的な機能を持った施設として位置づけし、費用対効果のバランスがとれた活用方法を検討する必要があると思う。

(佐藤一男委員)

各地区の事情もあると思うが基本的にはいいと思う。

(栗田仁委員)

金山町の人口は毎年減少しています。また、有屋学区、明安学区の各地区も減少している。子供達も少なくなるし我々も毎年歳をとっている。利活用は長い目で考えてもらいたいと思う。

(佐藤忠義委員)

資料の内容が適切と考えます。私としてはこれ以上の案がありません。

(中村忠行総務文教常任副委員長)

現在、町では中央公民館の今後についての検討が進められ、町内の公共施設のあり方が議論されている状況で、積極的に活用を検討する企業・団体が有れば、公共性・産業福祉向上等を踏まえ利用促進を進めるべきだが、申し出がない場合、利活用案を確定するのは困難である。

各施設の立地条件・地域との関わりを踏まえた 各施設のコンセプトを設定することが必要になる。

(栗田保則総務文教常任委員)

廃校施設等は町の貴重な財産である。公募などにより有効な活用方法が見いだせれば、町の振興やコミュニティの活性化、地域経済の発展などにつながる。しかし、長期的に廃校施設等の活用を見いだせない場合は、施設維持に要する施設整備費や維持管理費等を考慮した場合、より有利な財政処置が見込まれる起債を活用しての解体撤去も致し方ないと考える。

(星川智子総務文教常任委員)

各学校は民間企業、団体等に利用してもらうのが最善だと思うので、無償譲渡、補助金付き譲渡など好条件を提示し、期限を決めて利用したい人が無ければ必要ない物件として解体に向けていくのが良いと思う。特に明安小学校は新しく取り壊すのは惜しいと思うが、将来の負担になる可能性を思えば、解体にかかる費用と維持管理にかかる費用を計算して、解体に踏み切る時期を適切に見極めるべきだと思う。

(柴田清正総務文教常任委員)

有屋小学校の利活用(体育館のみ)

NPO かねやま電雪理事長小沼正和、理事代理水戸部秀利(金山町出身、医師)

①空き屋の再活用と自然エネルギー利用を目的に2018年8月に設立した空き屋を改修した冷熱利用(雪室)や自然に親しむ活動をしながら、太陽光を利用したソーラーシェアリング(営農太陽光発電)

②水資源の魅力と活力を考える。(小水力発電や風力発電その学習と普及と事業化)

NPO かねやま電雪に有料貸付をする。

有屋小学校には、有屋少年番楽と相撲、有屋少年鼓笛隊を残し存続する。いずれも建物を有料に貸出す。

(佐藤幸浩教学課長)

各学校の利活用基本方針は示されたか？

2. 避難所としての対応について

(阿部利広委員)

各校ともに、地域の中心的存在だと思う。有事に活用すべきだと思う。また、利活用に屋外運動場（グラウンド）の検討を行いたいと思う。

(矢口卯之助委員)

各地区に避難所として公民館があるが、地域に大きな避難所が一つあってもよいのではないか。

(正野賢一委員)

他の利用目的がなく、単に避難所としてだけで、現状のまま維持し続けるのは、町の財政状況を考えれば難しいのではないか。

(佐藤一男委員)

各地区の事情もあると思うが基本的にはいいと思う。

(栗田仁委員)

各学校の校舎は、解体・更地化し、体育館は残し避難所として残して良いと思う。

(高橋久男委員)

地区公民館も避難場所として指定を受けているため、令和2年度に発電機や投光器の防災資機材を整備していただいた。大変感謝している。さて、金山町の地区公民館で地震に耐えられる公民館がないような気がする。町内、中田、有屋、明安地区は耐震構造のある学校を避難所として利用することができ、それが望ましいと思う。しかし、朴山分校を解体すると、西郷地域には地震の時に避難する場所がない。第1次避難所まで遠いこともあり、財政的に厳しいが、朴山、長野、谷口、板橋地区の公民館を地震に耐えられる構造に補強することが必要になると思う。地震に強い避難所は西郷地域地区民の安心にも繋がる。(防災の面からの地域的格差を解消)

(中村忠行総務文教常任副委員長)

避難場所としてなら維持経費は問題ないが、避難所については適正な管理が伴い、多ければ良いと早々に判断はできない。また、利活用している団体企業の協力が不可欠となり、ひ

いては維持管理経費の一部を町で負担することにつながる。

町全体の避難所計画は、昨今の感染症対策を含め、今後は公共施設にあわせ、民間企業施設等の避難所として指定する等、小規模に分散することも必要になるのではないかと。

(栗田保則総務文教常任委員)

避難所として運営を円滑に行うには、町防災担当課、消防団等の地域防災組織、地域住民等が連携する体制を構築して、共通理解を得ることが重要である。

また、避難所として必要なところだけ残すなど、少しでも財政負担が軽減されるように検討すべきである。

(星川智子総務文教常任委員)

やくし苑、改善センター、体育センター、中学校体育館、各地区公民館と避難所の確保はできているのではないかと思う。金山町では避難所の確保より町の避難体制がより整っていることのほうが大事ではないか。

(柴田清正総務文教常任委員)

有屋小、明安小学校を他利用の他に避難所としても視野に入れながら。

(佐藤幸浩教学課長)

町の防災計画上、各学校に体育館が避難所に指定されているが、明安小、有屋小の廃校に伴い解体されることになれば、代替え施設として地区公民館等で収容人員等はカバーできるか等の課題はある。

3. 明安小学校の利活用についての検討

(阿部利広委員)

再利用価値の高い建物と考える。建物全部の貸出しを検討したらどうか？

(矢口知之助委員)

有屋小学校より比較的新しい学校でもあるし、介護施設、ケアハウスなどが良いと思う。

(正野賢一委員)

まだ新しい建物であり、構造的にも多目的、複合的な利用が可能な施設だと思う。費用対効果の面からも、複合的な機能を持った施設としての活用を検討する必要があると思う。中央公民館機能の一部（所在場所から、中央公民館の全ての機能を持つのは無理と思われる

る。)

ケアハウス（今後、高齢者人口が減少傾向にあるとはいえ、高齢者の一人暮らし・夫婦世帯が増加しており、特に冬期間の生活に不安を持っている人が多いことから、ケアハウスへの需要は高いと思われる。）

（佐藤一男委員）

明安地域の委員として、第1回目の検討委員会の中では、民間事業者の資金とノウハウの導入を前提した廃校校舎の社福施設への転用を促し、関連事業を展開してもらうのが良いのでは提起したところですが、その後の意見集約を拝見するに当たり、将来を担う子供達の放課後の問題とか、魅力的な場所づくり等を提起している半田季三子委員の「中央公民館+町民コミュニティの場」としての活用案に賛同いたします。

（栗田仁委員）

地元の優良企業(庄司製材、金山牧場など)に土地・建物を売り払った方が良い。またはどこか売れる場所があれば売る。売れたとしても災害時は避難所利用を条件に！

（高橋久男委員）

比較的新しい施設で、耐震化工事が施工されているので、体育館を避難所にして、校舎は少年番楽・歌舞伎の練習場や小規模作業場(金山ハウス)として利用する。（中田小学校は山の上にあるので住民が足を運びやすく交流しやすい住民の活動拠点としてはふさわしくないで解体し一部を残す。残した建物は避難所や備蓄倉庫として利用する。有屋小学校は神室山登山、神室ダム、グリーンバレーカムロ、遊学の森の拠点として宿泊のできる施設として利用する。）

（中村忠行総務文教常任副委員長）

施設の特徴として、バリアフリーに配慮した施設であり、施設のコンセプトとしては、社会福祉施設としての活用が想定される。しかし、町所有施設には老人福祉センターやくし苑があり、やくし苑を明安小学校に機能移転し、改善センター一帯を公民館機能をもたせた社会教育エリアと位置づける事も一考である。

障がい者福祉サービス事業所「かねやまハウス」が現在使用している旧保育園は、老朽化・耐震化等に問題が有り、明安小学校の一部に移転していただく事等により、社会福祉施設として、「やくし苑」「かねやまハウス」「金山町子育て支援センター おひさま」「NPO 法人さわやかサロン」等の複数の団体に利用して頂くために、社会福祉協議会を明安小学校に置くことも考える。

(栗田保則総務文教常任委員)

中央公民館機能については、中心部からの距離などを考えた場合、得策とは考えにくい。各委員から提案のあった、複数の多様な活用の検討が必要だと考えるが、コロナ禍で首都圏企業との連携が注目され、テレワークやサテライトオフィスの在り方も注目されている。人口減少が進む中で、少子化対策として若い世代の移住・定住対策につながるような施設としての活用も検討すべきである。

(星川智子総務文教常任委員)

前記の通り公共施設として利用するのは反対です。多額の費用をかけて作った施設が18年で不要となったことを踏まえて考えるべき。

(柴田清正総務文教常任委員)

中央公民館機能や教育委員会事務所の移転、明安地域全体の活性化を明安地域で要望する声が多い、優れた校舎(建物)では中央公民館や教育委員会事務所ということについてはあまりなじまないと思う。いろいろ若い人達の話などを聞くと放課後子供教室やスポーツ少年団活動の町全体の拠点施設として利用しても良いと思う。

(佐藤幸浩教学課長)

平成14年に竣工した校舎であり、築後20年経過していない比較的新しい学校であり、随所にモダンなデザインが施されている。

民間等で使用希望があれば、その内容を十分検討した上で、貸与や譲渡も可。しかし、間取りが学校仕様なので、改修も必要になると思われる。

9月の検討委員会では中央公民館機能を持たせ、子ども達が安心して放課後の過ごせる場所としての活用案が出されたが、可能性としてはないとは言えない。

また、一部を民間に貸与・譲渡したとしても、施設の一部を明安地域多目的集会施設の機能を補完できるようにし、地域で使用できるようにすることも併せ考えたい。

4. 公共施設の在り方(中央公民館機能)

(阿部利広委員)

町全体の保有する建物の築年数を整理することと、公共施設形態の整理することが必要だと思う。例えば維持管理経費の嵩む施設、重複するサービス提供施設、複合サービス提供施設等を検討してみるといい。さらに、その検討に時間(時代)を加えることも必要だと思う。

(矢口知之助委員)

中央公民館はやはり町の中心にあるべきもので、各学校にするとなんとなく不便に思います。改築耐震化に含む大規模改修が良いと思います。

(正野賢一委員)

既存施設への機能移転が良いと思う。この場合、現在の中央公民館の全ての機能を一つの既存施設で担うのではなく、複数の既存施設に分散しても良いのではないか。

(高橋久男委員)

新庄南高等学校金山校に進学希望者は生徒の激減により今後益々少なくなり、廃校が近いような気がする。現在県教育庁と相談中とのこと。これから継続的に情報交換し最終的には譲渡していただく。その後は、社会教育施設、文化施設、社会体育施設、福祉施設、総合交流施設として使用する施設としては最適な施設だと思う。

(佐藤一男委員)

前出で記載したとおり「中央公民館+町民コミュニティの場」ということで、中央公民館は解体。跡地は周りの環境、グラウンド等の整備しながら「町の駅」構想を再考。

(栗田仁委員)

中央公民館は建てられないと思うし、また明安小学校は役場から遠いし人口減少も進み中央公民館は厳しいと思う。山形県立新庄南高等学校金山校を中央公民館として機能した方が良く思う。いずれは金山校はなくなると思うから。金山町は、役場に近い所に中央公民館はある。鮭川村は、役場から遠い所にある。住民から批判がなければ良いが！

(中村忠行総務文教常任副委員長)

町情勢を鑑み、長期的に考えると、中央公民館機能の生涯教育としては、改善センター一帯を拠点とし、中央公民館の使用頻度が高い「芸文協」は「やくし苑」が利用しやすいのではないか。

大ホールに代替として、改善センターを主とし、金山町体育センターを併用できないか。

公民館機能移転によって、現在の施設・敷地については、中央公民館改築検討会での議論に委任し、方針策定の際には、町執行部・中央公民館改築検討会・廃校利活用検討委員会で意見集約する機会を設けることが必要ではないか。

(栗田保則総務文教常任委員)

中央公民館の役割については、社会教育や町生涯学習推進において位置付けられており、在り方については、財政状況や人口減少を見据え、より効率的で効果的な運営を図っていく

必要がある。中央公民館機能移転については、現在の利用頻度や利用内容を検討し、可能であれば既存の公共施設への移転も賛成である。

(星川智子総務文教常任委員)

中央公民館を改善センターに移転する案に賛成。町民の動線が、すでに定着している所に機能を集めていくのは効率的だと思う。診療所、郵便局など町民がよく利用する機能が近くにあるのも魅力的。ちょっとした売店があって買い物もできるとより便利だと思う。老人と幼児がふれあえるようにしてもいいと思う。

(柴田清正総務文教常任委員)

今現在の中央公民館は将来使用せず、耐震化基準を満たしておらず、利活用するにも貸出すにも危険な建物である。候補として、改善センター、新庄南高等学校金山校などが考えられる。

(佐藤幸浩教学課長)

現中央公民館のあり方については、先の9月議会において3つの方向性が示された。① 現中央公民館の機能を町の他の公共施設で補完する。② 現中央公民館の耐震補強工事と大規模改修を行い、継続して使用する。③ 白紙になった新中央公民館建設を財源の目途が果たしたら、復活させる。

今後の人口減少、財政状況等を考慮すれば、①が一番現実的と思う。現在の中央公民館の事務室機能(教育委員会)を改善センターや役場、さらには新南金山校や金山中の空きスペース等に移動し、公民館機能は改善センター、やくし苑、役場庁舎、蔵史館等で補完できると思われる。いずれにしても検討委員会を立ち上げ、協議していくこととしている。

(高橋章生涯学習・社会教育係長)

① 案1 「中央公民館機能を農村環境改善センターに移転する。」

概ね理解でき賛成する。移転費用が少なく抑えられると思われるので現実性は高い。最も利用する芸術文化関係団体の利用も可能である。調理室を利用する事業は年間数日しかなく、遊学の森木もれび館の調理コーナーの方がきれいで機能が充実しているし利用者数が圧倒的に多いため、そちらで代替えできると思われる。ただし、現状のラウンジでは事務室機能が無いので、電話や電源の増設や電子端末機器等が利用できる配線工事及びLAN工事等が必要で初期投資費用が求められる。また、出入口は町民が出入りしやすくバリアフリー化等構造面、「入りやすい」施設という気持ちの面からの対応は必要。課題の一つとしては、中央公民館に事業用で管理している備品や消耗品等、防災用品が大量に保管されていることから、それら保管する場所をどう確保するか。可能であれば敷地内に収納できる小屋が必要である。また、中央公民館に隣接していた町民運動場の管理について考える必要がある。

体育施設利用は体育館内利用よりグラウンドの方が多いため、グラウンドの管理、夜間照明の管理をどうしていくか検討が必要になる。

現在の中央公民館事務室は、「金山健康ふれあいスポーツクラブ」のクラブハウス機能を夜間の学校体育施設の鍵を管理している。平日夜間は毎日のように利用のある金山小学校体育館・金山中学校体育館・町民グラウンドから距離が離れることになる。クラブハウス機能の移転をどうするかも同時に考える必要がある。

②案2 「中央公民館機能を新庄南高金山校や金山中に移転する。」

現実的ではない。新庄南高金山校は、老朽化が著しく県の施設であるものの、町の行政機能が移転すれば、修繕費用やランニングコスト負担は避けられず年々出費が増えることが予想されるため反対である。

金山中学校への移転は、空き教室などを見れば施設的には十分カバーできる広さと機能を有している。学校教育に重点を置けば、連携強化につながり利点は多いかもしれない。一方で、社会教育事業をしていく上では、団体を多く持っている関係上、不特定多数の町民や業者等が校舎内に頻繁に出入りすることを考えると、防犯上や安全面・衛生面において、中学校生徒へ及ぼす不安要素が多いと考える。

③その他案 「中央公民館機能を明安小学校へ移転する。」

個人的には一番推したい。明安地域の一部区長や住民から移転して欲しいと望む声をよく聞く。移転するのであれば、意欲やニーズがある地域・場所への移転が望ましい。移転することで、地域の活性化を期待する声は大きく、小さいながら頑張っている商店や事業所にとっては売り上げアップ等の経済効果がある。教育熱心な地域で、学習やスポーツに小中学生の親を持つ世代の意識と意欲は高いと感じる。社会教育事業展開することで、より高い公共サービスを地域に提供できる。人口減少が進む地域に活気が生まれることが想定できる。例として、戸沢村や鮭川村が中心部から離れた地域に中央公民館があることで、地域に人とお金の経済循環があり、一定の効果があると聞いた。課題としては、役場から距離的に離れることで、決裁や会議関係で職員は往復する機会が増えて大変になる部分は出てくる。明安地域に中央公民館機能が移転した場合、人の流れが変わり、交流人口や関係人口が増え、まちづくりに地域づくりに大きな成果が期待できる。そして地域の皆さんも移転に期待していると感じている。年数が浅い建物だけに、民間での利活用需要が無い場合が無い場合は、有効活用の手段として検討して欲しい。

5 その他（次回開催時の要望等含む。）

（阿部利広委員）

白紙の状態では協議して結論を得るのは難しいと思う。事務局側から複数案を提示して、検討するのはどうか？この検討委員会の役割が今年度までなら、今回の意見所をまとめて、ぼんやりとした方向ぐらいしか、導き出せないと思う。

(佐藤一男委員)

視察も視野に入れながらを提案したいところであったが、「オンリーワン」の町づくりを考えた場合に必要ではないのかと思う。

(高橋久男委員)

廃校利活用の検討委員として、最初は財政面から考えたが、次第に多方面から現状を視ると難しい問題も浮上し、財政が厳しいから解体するということだけで解決できないように思うようになった。財政が許す範囲で、また県や国の該当する補助金を充当し、地域住民が暮らしやすい、地域シンボルとした多目的交流施設として利用した方がいいのではと思うようになった。

(中村忠行総務文教常任副委員長)

廃校利活用の問い合わせがあったそうだが、詳細を報告していただきたい。

中央公民館機能について、町執行部の考えを聞きたい。

中田小学校の解体した場合の試算は無いか。

廃校利活用を検討している途中で、団体・企業から利活用の申し出があった場合、町有施設利活用計画に変更が想定されるが、町の長期計画を優先するか、団体・企業の利用促進を進めるべきか、確認は必要ではないか。或いは、各学校の利活用基本方針や町有施設利活用計画としては、大約の計画とするのか。

・この廃校利活用検討委員会意見書に有屋小学校・中田小学校についての設問が無いのは、どのような意向か。

(栗田保則総務文教常任委員)

県内のコロナウイルス感染状況からみて、次回についても意見書の提出が妥当と思う。

(柴田清正総務文教常任委員)

建物（それぞれの小学校、有屋、中田小学校）は、いずれにしても町で管理せず、企業で欲しい場合は建物について売却した方が良いと思う。

今後、修繕費、維持管理経費を考えるとその方向が望ましい。

その他の考えてとして、廃校プロジェクトに応募して全国各地から利用できる民間企業や団体を募ってはどうか？難しいと思うが。

(佐藤幸浩教学課長)

町民とある程度の合意形成の上で、進める必要があると思います。

(正野直弥委員)

この度、廃校利活用検討員に応募させて頂きました。一般町民の立場として、皆さんの様々な意見や思いを、検討委員会で伝えることが役割だと思っています。

9月7日に第1回検討委員会が開催され、「学校施設は地域の核であり、できれば残したいが管理していくには負担感がある。」という意見が多く、企業誘致を図るという提案のほか、複数活用案が出されました。今後も町財政にとって無理のない活用策を検討していく必要があると思います。

広報や議会だよりでも知らされているように、現在、町の財政状況は良いとは言い難いと認識しています。町としても令和元年を「財政健全化元年」と位置づけている状況にあって、活用策は町の財政状況と整合性の取れたものであることが前提だと思っています。

学校施設のような大規模施設の改修はもちろん、維持管理にも多大な経費が見込まれ、負担できないのであれば民間資本を受け入れることを検討してもよいのではないかと思います。地域を長年支えてきた学校施設には皆さんの思いがたくさん詰まっています。それらの今後の活かし方について、まずは多角的に意見を交えることがもっとも重要であり、十分な議論が必要だと思っています。

できるだけ多くの町民の皆さんの意見を頂き、町の意見と合わせながら、未来を担う子どもたちの将来的な負担にならないよう、方向性を見出していくことが大事だと思っています。

(町議会だより124号掲載)